チューリップ新品種「春天使」の育成

1 背景・ねらい

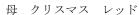
チューリップ品種の中で、早期促成栽培が可能な白系品種は少ない。また、小型 の品種は、風雨に強いことから花壇植えに適するが、茎長が短く切り花生産には不 向きである。

そこで、花壇では小型の草姿、促成切り花ではボリューム感のある白系品種の育 成を目標とした。

2 成果の概要

(1) 育成経過







父 アルビノ



春天使

- ・1984 (昭和59) 年交配・・588粒
- 1989 (平成元) 年初選抜・・7系統
- ・2003 (平成 15) 年
 - ~2005 (平成 17) 年・・系適試験
- ・2006 (平成 18) 年・・農林登録

種苗登録出願



(2) 特性の概要

- ア 露地での開花期は4月中旬~4月下旬。花色は淡黄緑色。咲き始めの花弁中央 部に紫ピンク色の発色があるが、開花後3~4日で消える。茎葉は強健で、葉の 着生バランス、咲き揃いも良いことから、花壇植えに適する。
- イ 球根収穫期は6月中~下旬。主球の肥大性は「中」程度だが、球根収量性は「多」、 分球性は「大」である。
- ウ 年末から年始にかけて、安定して開花する。開花揃いが良く、わい性としては ボリューム感のある切り花・鉢物生産ができる(表1)。

表1 12月出し促成適応性(2003~2005年の平均値)

試験地	開花率(%)	開花日(月日)	花弁長(cm)喜	を長(cm)	葉長(cm)	脚長(cm)	切り花重(g)	到花日数(日)
新潟*	100	1/1	5.5	33.4	23.1	6.2	35.0	62
埼 玉 *	100	12/28	6.2	34.5	20.8	7.4	29.7	51
埼 玉	100	12/29	6.0	35.1	21.4	7.5	28.8	52
富山	97	12/27	5.5	29.2	20.8	5.5	27.1	58
アルビノ**	96.8	12/30	5.5	29.5	21.4	5.0	28.5	60

供試サイズ:11cm球

* ホルモン処理 * * 対照品種「アルビノ」: 富山県の値